

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて 調査結果から見た本校児童の様子

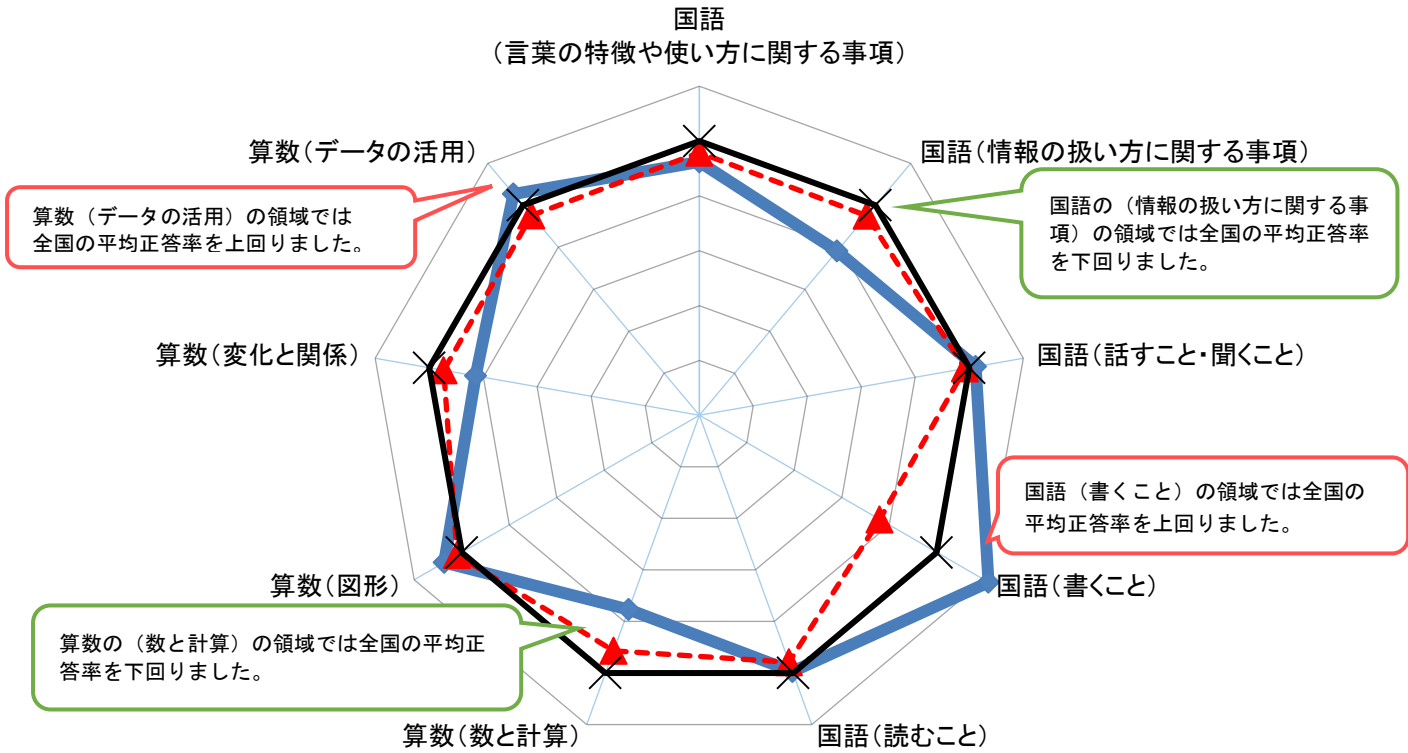


学力について

—●— 帯広市立啓北小学校

-▲- 北海道(公立)

—×— 全国(公立)



【国語】

◎全国よりも正答率が高かった問題

- ・「敬語の使い方をまとめた【ノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する」設問
- ・「【インタビューの様子】を基に、質問をした理由として適切なものを選択する」設問。

▽全国よりも正答率が低かった問題

- ・「原因と結果などと情報と情報との関係について、適切なものを選択する」設問。

□無解答率の高かった問題

- ・「話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」設問。

☆今後に向けて

- 物語の読み取りでは、「何がかけられているか」ではなく、「どのようにかけられているか」という表現面に着目して、物語全体を読む力を高めていきます。

- 話合いの場では、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるようにしていきます。

【算数】

◎全国よりも正答率が高かった問題

- ・「テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ」設問。
- ・「二つのグラフからわかることを書く」設問。

▽全国よりも正答率が低かった問題

- ・「3種類のファイルを並べた時の長さの求め方と答えを記述し、棚に入るかを判断する」設問。

□無解答率の高かった問題

- ・「示された棒グラフを比較し、違いを言葉と数を用いて記述する」設問。

☆今後に向けて

- 「どのように求めたのかがわかるように」「求め方を式や言葉」を使って説明することができるようにしていきます。

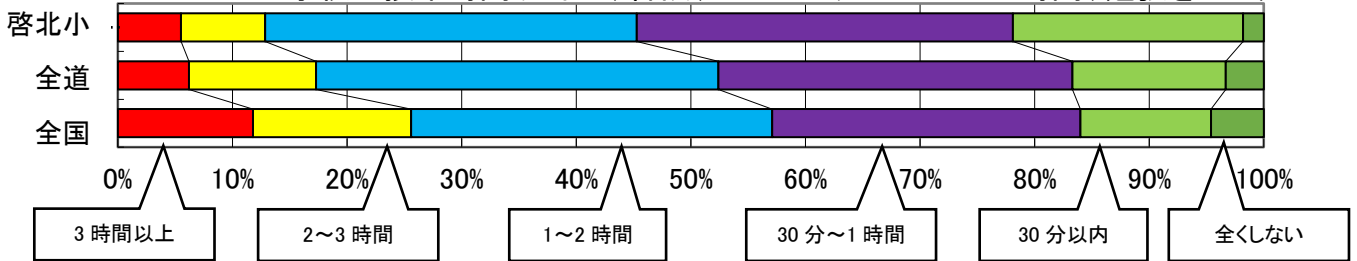
- 日常の具体的な場面に対応させながら、割合について理解したり、図や式などを用いて基準量と比較量の関係を表したりすることができるようにしていきます。

学習状況について(児童質問紙より)

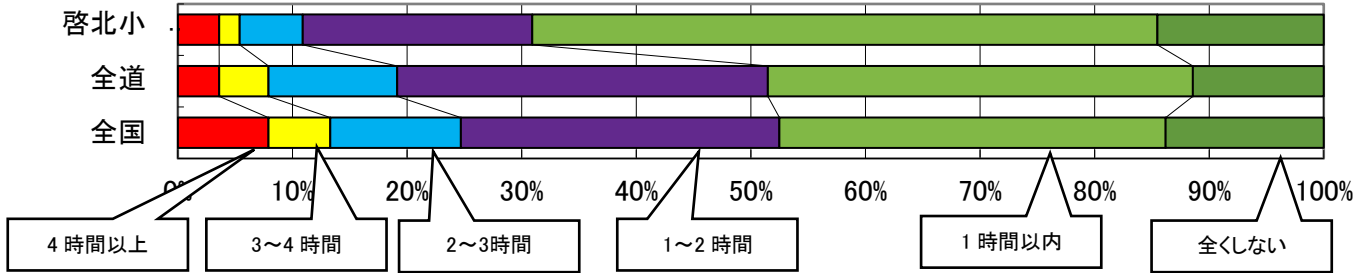


- 学習意欲は高く、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という質問では、全国平均より「できている」と答えた児童が多いです。
- 「自分で計画を立てて勉強をしているか」という質問では、全国平均より「している」「ときどきしている」と答えた児童が多いです。
- 学校の授業以外の普段の学習時間や読書時間が短い傾向にありました。家庭学習を全くしていない児童や30分未満の児童の割合が高いです。

学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強をしますか



そこで
学校では... 家庭では...



①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に 向けて取り組みます

- ・タブレットを活用した補充的・発展的な学習
- ・TTや習熟度別少人数指導など複数の教師による個に応じた指導
- ・「子ども」が主語になる授業づくり

②9年間を見通した系統性のある指導を行います

- ・次の学年、中学校進学を見通した系統性のある指導
- ・一中エリアにおける連続性・系統性のある教育の充実（出前授業）

③学習規律・学習習慣の定着に向けて取り組みます

- ・「学習のきまり」の徹底やレジリエンス教育を通じて、安心して学習できる環境づくり
- ・宿題の提示や、家庭学習への取組推奨と評価（児童への励まし）

①机に向かう時間を確保しましょう

- ・目標は「10分間×学年+10分間」
- ・時間帯を決めて毎日継続（定着するまでは、保護者からの言葉掛けを）

②メディア利用のルール作り（時間を決める） をしましょう

- ・テレビ、ゲームやネット利用の時間を減らし、家庭学習や読書の時間に（ストップ・ザ・見放題、家読の取組）

③心が触れ合う時間を確保しましょう

- ・将来を思い描き、学習の意義を感じながら意欲をもって学習に取り組む姿勢の育成
- ・子どもの頑張りを褒め、良い所を認める

これからも学校と家庭が連携し、子どもの学力向上を目指しましょう！